令和８年度　兵庫県看護協会東播支部　医療安全委員会　開催研修の紹介

医療安全推進者交流会

～つながる、共有する、医療安全をアップデートする～

本年 9 月 11 日に複合型交流拠点ウィズあかしにて 関西医科大学医療安全管理センター 理事長特命教授 宮崎浩彰先生を講師にお迎えして、「日頃の医療安全活動における悩みや困りごとを共有し、知恵を出し合おう！」というコンセプトで交流会を開催しました。支部内から 16 名、支部外から 3 名の方にご参加いただきました。

宮崎先生から「正解を教えてもらう研修ではなく、悩んでいることを分かち合い、互いの発言を否定することなく、ポジティブな感情で知恵を出し合う場にしましょう」という温かいアドバイスをいただき、そのあとの自己紹介タイムから盛り上がり、活発な意見交換となりました。

最初はグループワークを実施し、自施設での活動や成功事例などポジティブな体験の共有と課題の整理を行いました。ディスカッションする課題を決め、ワールドカフェ方式で対策を出し合いました。身体拘束最小化への取り組みへの各施設での取り組みからヒント（解除に向けてのカンファレンスを毎日実施する・衝撃吸収マットの活用や床材の工夫・無断離院防止のためネームバンドと病室入り口にセンサーを付けるなど）を、インシデントが共有されず同じような報告が繰り返されることへの取り組みや対策（報告書は回覧でなく、3 日間申し送り時に共有する・部署で短時間でもカンファレンスをし続ける・自分ごととしてとらえられるよう意識付けするなど）を各グループ発表で共有し、自施設での医療安全活動の参考にすることができました。

研修後のアンケートでは、グループワークや講師による講評に「満足・だいたい満足」とし、課題が尽きないので（次年度も）同じような場があると嬉しい、悩みはどこの施設も同じと安心するとともに他施設のさまざまな取組みを知ることができ参考になった、という意見がありました。

医療安全関連の研修はさまざまありますが、医療安全担当者が悩みを分かち合い相談できるような交流の場は少ないので、次年度以降もこのような交流会企画を継続していけたらと考えています。



